

期日  
会場

県佐伯総合庁舎 4階大会議室（佐伯市長島町 1-2-1）

- 1 説明「2学期以降の授業改善の方向性について」
  - ・「さいき授業づくり Navi」の視点による授業改善の方向性の確認
  - ・令和8年度大分県学力定着状況調査の結果を踏まえた5教科の指導のポイント
- 2 演習・研究協議「自校の組織的な授業改善に向けた今後の取組について」
  - ・【校内研究チェックシート(佐伯教育事務所作成)】を活用した研究主任としての取組の振り返り
  - ・演習シート及び各校の研究に係る持参資料を活用したグループ協議
  - ・自校の研究推進に向けた今後の取組の検討
- 3 講義「特別支援教育の視点を踏まえた授業改善について」
  - ・障がいの社会モデルと合理的配慮に関する理解の深化
  - ・教育のユニバーサルデザイン(UD)の考え方と授業づくりへの活用

[illegible]

※【校内研究チェックシート】の回答を基に個人で分析を行った後、グループで今後の各校の研究の進め方について協議し、方向性を共有した。



※UDハンドブックを読みながら自身の実践を振り返り、その後のペアでの交流を通して、UDの視点を踏まえた授業改善について理解を深めた。



【参加者による協議会全体評価】 3.9(4件法)

- 自校の研修や校内研究に関する悩みを相談し、他校の実践から課題解決のヒントを得ることができた。
- 【校内研究チェックシート】を活用し、研究担当者と教職員との意識の違いを把握し、今後の校内研究の充実につなげていきたいと感じた。
- UDの視点から授業づくりを見直し、子ども一人一人への支援や配慮について新たな気づきを得ることができた。
- 若手からベテランまで発言しやすい研修の在り方やハンドブックの活用方法を学び、自校の研修にも取り入れたいと思った。
- 学校組織における自身の役割を見つめ直し、教職員同士をつなぐ存在としての意識を高める機会となった。
- 板書の写真を活用した実践交流など、小規模校でも実施可能な授業研究の工夫が大変参考になった。
- 他校の若手教職員との交流を通して、研究に対する前向きな姿勢に触れ、有意義な学びの機会となった。